



2022年3月30日

会社名 東北特殊鋼株式会社
代表者 代表取締役社長 成瀬 真司
(コード番号 5484)
問合せ先 総務人事部長 高橋 隆行
(TEL 0224-82-1010)

連結業績予想の修正および個別業績見込みならびに特別損失の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表した連結業績予想を修正することとしましたのでお知らせするとともに、個別業績につきましては開示してはおりませんでした。前事業年度の実績値と比較して差異が生じる見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。また、2022年3月期第4四半期連結会計期間において特別損失を計上する見込みとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2022年3月期通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	19,100	2,000	2,000	1,450	192.59
今回修正予想(B)	19,700	2,020	2,090	1,040	138.13
増減額(B-A)	600	20	90	△410	—
増減率(%)	3.1	1.0	4.5	△28.3	—
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	16,186	1,347	1,539	427	56.73

(2) 修正の理由

売上高、営業利益および経常利益は、概ね前回予想のとおりとなる見通しであります。

親会社株主に帰属する当期純利益は、「3. 特別損失の計上について」に記載の特別損失（固定資産の減損損失）の計上等により、前回予想を下回る見通しであります。

2. 個別業績見込みについて

(1) 2022年3月期通期個別業績見込み (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績(A)	13,223	822	1,062	△467	△62.14
当期実績見込み(B)	16,200	1,220	1,330	560	74.38
増減額(B-A)	2,976	397	267	1,027	—
増減率(%)	22.5	48.3	25.2	—	—

(2) 通期個別業績見込みと前期実績との差異理由

売上高は、半導体産業向けの販売が堅調に推移し前期実績を上回る見通しであります。

営業利益は、売上増に伴う利益の増加に加え、売上構成変化等により前期実績を上回る見通しであります。

経常利益は、前期に計上した雇用調整助成金がなくなるものの、営業利益の増加により前期実績を上回る見通しであります。

当期純利益は、「3. 特別損失の計上について」に記載の特別損失（固定資産の減損損失）の計上を見込んでいるものの、売上高、営業利益および経常利益に記載した理由に加え、前期に計上した関係会社株式評価損がなくなることから前期実績を上回る見通しであります。

3. 特別損失の計上について

(1) 固定資産の減損損失

特殊鋼事業セグメントに含まれる熱処理事業は、新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴う半導体を始めとした部品不足による自動車産業の減産や電力費の高騰等、経営環境の変化に伴い収益性が低下しております。このため、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、将来収益を保守的に検討した結果、同事業に係る固定資産について減損損失約400百万円を特別損失として計上する見込みであります。

(注) 上記の予想数値につきましては、現時点において当社が入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、今後の新型コロナウイルス感染症の影響や様々な要因によって、実際の業績等は予想数値と異なる結果となる場合があります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上